

ONE Ver.7 から Ver.8 へのバージョンアップ内容を ご紹介します。

※解説内容がオプションプログラムの説明である場合があります。 ご了承ください。



目次 バージョンアップガイド ONE (Ver.7→Ver.8)

1 メイン·共通 P.1 1-1 FIELD-POCKET連携対応 _____1 1-2 Window表示位置の改修 2 2 現場プロット P.3 2-1 他現場データを背景表示 _____3 地番管理 P.4 3 3-1 地目登録数を増大 _____4 3-2 共有者の表記方法改修_____4 4 CAD P.5 4-1 文字枠内の塗潰し対応 5

4-2 マークサイズの履歴保持対応	6
4-3 KUMIKI連携対応	6
4-4 枠外データの削除設定追加	7
4- 5 TREND-FIELDへのシンボルの移行	7
4- 6 図面配置時にCADデータを背景表示	8
4-7 基準点測量記載要領の様式対応	9
4-8 抜き取り保存機能追加	10
4-9 選択候補を表示	10
4- 10 ピックモードに垂線ピック追加	11
4- 11 ピックイメージを文字で表示	11
4-12 配置済み要素から上下線を作成	11
4-13 《座標管理》との連携対応	12
4- 14 TREND-FIELDへのDMマスターの移行	12
4- 15 プロットマーク選択時に関連文字をハイライト表示	13

5 電子野帳取込 P.14

5-1 器械定数を加味しない設定追加 _____14

6 基準点測量 P.15

- 6-1 器械定数を加味しない設定追加_____15
- 6-2 基準点測量記載要領の様式対応 _____16

7 水準測量 P.17

7-1 基準点測量記載要領 水準測量編の様式対応 ____17

8 縦横断測量 P.19

8-1 J-LandXML Ver.1.6出力対応 _____19

9 3 次元計測	P.20	
9- 1	KUMIKI連携対応	_20



メイン・共通の新機能をご紹介します。

1-1 FIELD-POCKET 連携対応

各アプリケーションにFIELD-POCKETのデータを入出力できる機能を追加しました。

《CAD》

- ・[ファイル] [外部ファイル読込み] [FIELD-POCKETデータ] コマンド追加
- ・[ファイル] [外部ファイル書込み] [TREND-FIELD・FIELD-POCKETデータ] コマンド名称変更

《電子野帳取込》

- ・ [手簿データ] タブー [データ読込み] グループー [TREND-FIELD取込み] [FIELD-POCKET取込み]
 コマンド追加
- ・ [手簿データ] タブー [データ書込み] グループー [手簿データ分割・抽出] コマンド追加 (対回観測と単回観測の器械点が混在している場合など、《基準点測量》へ取り込む前のデータ整理に使用してください。)

《GNSS単点観測》

- ・ [観測・整合点検] タブー [データ読込み] グループー [FIELD-POCKET] コマンド追加
- ・ [観測・整合点検] タブー [データ読込み] グループー [CIMPHONY Plus連携] コマンド追加

《トラバース計算》

・ [観測データ] タブー [登録] グループー [登録] コマンド機能強化 (《座標管理》とFIELD-POCKETの点番を関連付けて登録します。)

《路線測量》

- ・ [路線計画] タブー [データ書込み] グループー [外部ファイル] [T-FIELD・F-TERRACE・F-POCKET路線 データ] コマンド名称変更
- ・ [路線計画] タブー [データ書込み] グループー [外部ファイル] [CIMPHONY Plus連携] コマンド追加

《縦横断測量》

- ・ [縦断野帳] タブー [データ読込み] グループー [TREND-FIELD縦断観測] [FIELD-POCKET縦断観測]
 コマンド追加
- ・[横断野帳] タブー [データ読込み] グループー [TREND-FIELD横断観測] [FIELD-POCKET横断観測]
 コマンド追加

《3次元計測》

- ・UAV [標定点・検証点測量計算] ステージ、 [調整点測量計算] ステージ、 [標定点測量計算] ステージの 「1.観測データ取込み」でFIELD-POCKETデータ取り込み対応
- ・ [標定点・検証点配置計画] タブ、 [調整点配置計画] タブ、 [標定点配置計画] タブー [データ書込み] グループの [TREND-FIELD・FIELD-POCKET] コマンド名称変更
- ・ [標定点・検証点配置計画] タブ、 [調整点配置計画] タブ、 [標定点配置計画] タブー [データ書込み] グループに [CIMPHONY Plus連携] コマンド追加

1-2 Window 表示位置の改修

《現場管理》や《プログラム》が有効画面領域にない場合に、有効画面領域に表示するようにしました。 例)サブモニターにONEを表示している状態で終了し、サブモニターを無効にした場合、ONEを起動するとメインモニターに 表示されます。



現場プロットの新機能をご紹介します。

2-1 他現場データを背景表示

《座標管理》《地番管理》の現場プロットに [他現場データの背景表示] コマンドを追加し、他の現場の座標地番を 背景として表示できるようにしました。





地番管理の新機能をご紹介します。

3-1 地目登録数を増大

[地目] コマンドで地目を最大250個登録できるようにしました。



3-2 共有者の表記方法改修

[所有者/共有者編集] コマンドに共有者の表記方法を「外〇〇名」とすることができる設定を追加しました。

長示川	l(<u>O</u>)	ID	▼ ● 昇順(<u>l</u>	<u>)</u>) 〇 降順(<u>D</u>)	最新表示	(A) 他O名 ●	10名	カナ変換(<u>K</u>
۱o.	ID	名前	3-15	カナ	郵便番号	住所	備考	共有者
1	1	1 福井一郎						
2	2	2 石川次郎						
3	3	3 富山三郎						
4	4	4 福井一郎 外2名						0
5								
6								
7								
8								
9								
10								
1								
12								
13								
.4								
15								
16								



CADの新機能をご紹介します。



文字要素の枠内に塗潰しを設定できるようにしました。



[文字] コマンドのインプットバー [詳細] で設定できます。

文字詳細設定	? ×
文字 複数行	
配置	枠
割付方法(上) 基準点配置 🔹	種類(近) 円 ▼
横オフセット(<u>O</u>) 0.0 mm	サイズ指定方法(1)
縦オフセット(<u>M</u>) 0.0 mm	文字サイズから直径を計算・
基準点(A)	直径(<u>2</u>) 5.0 mm
8-8-8	ペン(<u>P</u>) Pen 1 -
文字列の描画方向角	✓塗潰し(Q) 塗潰し色(C) ▼
マウス指定(U)	透過度(E) なし(0%) -
描画方向角(<u>G</u>) 0.0000 度	
回転免と描画方向の関係	縦横比(工) 1.00
 ●同じ(S) ○個別(D) 	□ 縦書き(⊻)
1文字の回転角(<u>R</u>) 0 度	□ 全角(<u>F</u>)
	□斜文字(<u>I</u>)
接頭・接尾	□ マスク(<u>X</u>)
接與(旦)	□ カウントUP(<u>B</u>)
· 接尾(<u>ℕ</u>)	□ 用紙に対して固定する(Z)
ОК	キャンセル

プロパティで設定することもできます。

R	文字	- 🛛 🗛 -
	全角	半角のまま表示する 🔺
	斜文字	OFF
м	枠	
	種類	円
	ペン	Pen 1 [0.13]
	直径	15.8 mm
	サイズ指定方法	直径(文字サイ
	☑ 塗潰し	
	塗潰し色	
	透過度	なし(0%)
	詳細	
	▲ 位置	
	基準点	左下 🚛 🔤 👘
	X座標	338.842 💌

4-2 マークサイズの履歴保持対応

[マーク] コマンドで [サイズ] を履歴から選択できるようにしました。



4-3 KUMIKI 連携対応

[GeoTIFF] - [配置] コマンドで、KUMIKI(スカイマティクス社製)の地形データからオルソ画像を取得し、GeoTIFF として配置できるようにしました。

また、現場プロットの [GeoTIFF配置] コマンドにも同じ機能を追加しました。

GeoTIFF配置					?	×
フォルダー				4	KUMIKI(<u>k</u>	<u>(</u>)
CAPP CIMPHONY P CIMPHONY P FCAccountDe FCNCLCentei SQLServerIn TREND-FIELI FCTemp FCTe	順位 名前	91%	作成日時	〕 日時		1
E = = = = = = = = = = = = = = = = = = =	詳細設定(≦) 全選択(!	<u>N</u>) 全解除(E	 ケリップボードの 文字列を参照して フォルダー移動(<u>V</u>) 		開く(<u>0</u>) キャンセル	,

4-4 枠外データの削除設定追加

[図枠] コマンドに枠外のデータを削除するかどうかの設定を追加しました。

図枠条件設定 - [No.1] : 出存	苛時設定			?	×
基本設定枠設定トンボ	設定 方眼設定 目盛設	淀			
やサイズ			枠タイプ(N) 標準	•	<u>*:</u>
内枠原点 X座標(X)	0.000	m	実行後原点移動(<u>T</u>)		
内枠原点 Y座標(Y)	0.000	m	● 配置データ訂正あり		
内枠縦長さ(日)	554.0000	mm	○ 配置データ訂正なし		
内枠横長さ(<u>W</u>)	801.0000	mm	○原点移動なし		
枠の余裕(<u>O</u>)	0.0	mm			
			原点マウス入力(M)		
	用紙設定連動(P)		縦縮尺 1/ 1		
☑ 内枠外のデータを削除((<u>C</u>)		橫縮尺 1/ 1		
実行後、内枠外の	Dデータが削除されます。				
	C/ 10				
	ОК \$	ヤンセル	読込み(<u>L</u>) 書込み(<u>S</u>)		

4-5 TREND-FIELD へのシンボルの移行

ONE Ver.3以降できなくなっていたTREND-FIELDへのシンボルの移行を可能にしました。

[シンボル] コマンドの [部分転送] [全転送] を行う際に、 [TREND-FIELDで読込み可能な形式で転送する] を オンにしてTREND-FIELDのシンボル参照先フォルダー(¥FCAPP¥TREND-FIELD¥TermFiles¥Symbol¥)に 転送すると、TREND-FIELDの [シンボル] コマンド実行時にコンバートされ、ONEのシンボルを使用できるようになります。

🛅 名前を付けて保存				×
\leftarrow \rightarrow \checkmark \uparrow	CAPP > TREND-FIELD > TermFiles >	Symbol ~ C	Symbolの検索	م
整理 ▼ 新しいフ	オルダー			≣ - ?
	名前	更新日時	種類	サイズ
🛄 デスクトップ	* _ t	検索条件に一致する項目はありません。		
🛓 ダウンロード	*			
📑 ドキュメント	*			
🔀 ピクチャ	*			
🕖 ミュージック	*			
🛂 ८न्त्रं	*			
ファイル名(<u>N</u>):	ONEシンボル			~
ファイルの種類(工):	シンポルデータ(*.sbx)			~
ヘ フォルダ−の非表示		 TREND-FIELDで読込み 能な形式で転送する(X) 	「 保存(<u>S</u>)	キャンセル

4-6 図面配置時に CAD データを背景表示

図面配置を行う際に、CADに配置されている要素を背景表示することで、配置位置を指定しやすくしました。 また、プレビュー画面を確認しやすくするため、ダイアログサイズを大きくして中央のスプリッターを広げることでプレビュー画面が大きく なるようにしました。



4-7 基準点測量記載要領の様式対応

基準点測量記載要領(令和3年度版)に則った図面を作成しやすくなるよう、注記表や路線方向線を配置できるようにしました。

・ [基準点網図配置] コマンドに注記表を配置する設定を追加

💽 基準点網図 配置	? ×
データ 用紙割付	🍳 🤁 🤤 % 💡 🕞
データ読込み(<u>R</u>)	21p
作業データ名(N):	
任意網入力例	
基準点網図 注記表	
✓配置する(S)	
表タイプ(工): タイプ 1 ・	
各項目	218
作業年度(Y): 令和6年度	
作業種類(<u>K</u>): ○△地区工事の為の用地測量	G-211 3-08
座標系番号(<u>A</u>): 9系	3-06
測量計画機関(P): 🔼 🗆 市	
測量作業機関(₩): ○□測量株式会社	

・ [基準点網図スタイル] コマンドの [線] タブに路線方向線と路線番号の設定を追加

基準	洋点網図 スタイル - [No.1] : CAD製図基準準拠								?	×	
Щ	颪 マーク 点番 点	洺 線 表									
	結線										
1	種類	表示	長さ	線和	₫	1	°≻	端点	1		
	路線 結線	0				Pe	n: 1				
	後視取付 結線	0	20.0			Pe	n: 1				
	片方向観測 結線	0	20.0			Pe	n: 1				
1											
				距離							
	種類	表示	ペン	サイズ	下限		フォ	シト	間隔		
	路線 結線		Pen: 1	2.5		2.5	M S :	ゴシック	0.5		
	後視取付 結線		Pen: 1	2.5		2.5	M S :	ゴシック	0.5		
				方向角							
	種類	表示	ペン	サイズ	下限		フォ	ント	間隔		
	路線 結線		Pen: 1	2.5		2.5	M S :	ゴシック	-0.5		
	後視取付 結線		Pen: 1	2.5		2.5	M S :	コシック	-0.5		
		明確の古古	ά τη co				北亚色の	5度+:十/泊			
1	缅精	距離の方向			= =	Ŧ	小十円の/	明反り広報	田페半次		
	1至大泉 敗迫 建迫	12/11	Don: 1	m∎ n⊐nc 20 1	: 1×	<u> </u>	Don: 1	MD/m	1 J30.++1±		
	PDWK THWK		rem 1	2.0			T CHI I		5.0		
	路線方向線路長										
11	表示線種	ペン	端点	離れ	表示	0	ペン	サイズ	フォント	離れ	
		- Pen:	1 ←	5.0		0	Pen: 1	3.5	MSゴシック	7.	5
	-										

・ [路線閉合差表] コマンドのインプットバーに [角閉合差を配置する] チェックボックスを追加

□ 角閉合差を配置する	
プロパティ	🔅 👻 🕂
∡ 表示·入力	
🕣 - 🏦 🖪 🔚 😽	1/2 - 1

4-8 抜き取り保存機能追加

[抜き取り保存] コマンドを追加し、配置されている地積図・測量図から一部を抜き取り、別ページに配置できるようにしました。



4-9 選択候補を表示

重なっている要素を選択候補一覧から選択できるようにしました。

プロパティの [選択候補を表示]をオンにして、要素が重なっている箇所をクリックすると、要素選択ダイアログが表示され、 一覧から要素を選択できます。



4-10 ピックモードに垂線ピック追加

ピックモードに [垂線] を追加し、手軽に指定した要素の垂線の足の位置をピックできるようにしました。



4-11 ピックイメージを文字で表示

[設定] タブー [モード] グループー [ピックモード] に [ピックイメージの文字表示] 設定を追加し、ピックした際に 表示されるイメージを文字表示できるようにしました。



4-12 配置済み要素から上下線を作成

DM属性編集時、配置済みの線や円弧から上下線を作成できるようにしました。

[DM入力モード] コマンドの [編集] タブで [編集可能な要素] に [上下線] が含まれるDM属性を選択した場合、 インプットバーで [線→上下線] をオンにして上線と下線を指定すると、DM属性の上下線を入力できます。 (元となった要素は削除されます。)



4-13 《座標管理》との連携対応

[数値地形] タブー [DM基本] グループー [観測データ一覧] – [現況観測データ] コマンドに、《座標管理》の座標と 観測データの関連付けを行える機能を追加しました。

現況観測	見況観測データー覧 ? ×									
	器械点(<u>G</u>		器械点情報(<u>I)</u>						
観測データ	//									
測点	測点名	水平角	鉛直角	斜距離	目標高	観測方法	備考	<u> </u>		
2	BS1	0.0000	90.0000		1.000	後視	通常:			
3	A1	279.0130	91.3330	16.079	1.000	通常				
4	A2	295.2440	93.4900	6.304	1.000	通常				
5	A3	134.4600	91.3950	14.961	1.000	通常				
6	A4	157.0140	90.4420	24.618	1.000	通常				
	AD	131.1240	91.5010	14.098	1.000	通吊				
8	A0 A7	119.5340	92.1140	14 207	1.000	進吊				
1 10	***	01 1710	91.2730	6 501	1.000	通市				
1	Γ <u>Ε(C</u>)	削	除(<u>D</u>)							
再計算										
☑ 測点	の再計算(<u>R</u>)								
	□ CADデータの変換(N) ● 測点と一致するCADデータのみ変換(S)									
	○ 変換するCADデータを範囲選択(<u>A</u>)									
座標	言理との連打	隽(<u>Z</u>) 道	■携を解除(⊻)		ОК		キャンセル			

4-14 TREND-FIELD への DM マスターの移行

ONE Ver.3以降できなくなっていたTREND-FIELDへのDMマスターの移行を可能にしました。 [DMマスター] コマンドの [TREND-FIELD用書込] ボタンでデータを保存してください。

DM記号一覧 - [No.1] : 1/500				?	×
 → 地図記号 □ ● [1]境界等 □ ● [2]交通施設 □ ● [2]交通施設 □ ● [3]建物等 □ ● [4]小物体 □ ● [5]水部等 □ ● [5]水部等 □ ● [7]地形等 □ ● [8]注記 □ ● [*]ユーザー設定 	DMNa. 1100 1101 1102 1103 1104 1106 1107 1110 1111	区分 0 0 0 0 0 0 0 0 0	名称 検索文 未分類 都府県界 北海道の文庁界 都市・東京都の区界 町村・拒定都市の区界 大字・町・丁目界 小字界 所属界 行政区の代表点	字 よく 字	<u>東うDM</u>
一覧表示カスタマイズ(<u>E</u>)		区分	追加(<u>K</u>)] 削除(<u>D</u>) 点記号更新(<u>U</u>)		
. –		-,,-,			
読込み(<u>R</u>) 書込み(<u>W</u>) データ	武送(<u>I</u>) TREM	ND-FIELD	用書込(X) 図面変更(C) 図面一括(A)	*	冬了

4-15 プロットマーク選択時に関連文字をハイライト表示

プロットマークを選択した際に、関連する文字をハイライト表示するようにしました。





電子野帳取込の新機能をご紹介します。

5-1 器械定数を加味しない設定追加

手簿計算を行う際に器械定数を加味するかどうかの設定を追加しました。

・ [計算条件設定] コマンドに [距離に器械定数を加味する] チェックボックスを追加(初期値オン)





基準点測量の新機能をご紹介します。

6-1 器械定数を加味しない設定追加

手簿計算を行う際に器械定数を加味するかどうかの設定を追加しました。

・ [現場情報] コマンドに [距離に器械定数を加味する] チェックボックスを追加

現場情報							?	×
共通		記簿·点検	計算					
等級(<u>C</u>) 3	座標系(<u>A</u>) 9	初点方向	角(工)		□水平距離を丸め	て投影補正を行う(<u>-</u>)		
距離計算丸め(<u>K</u>)		●出射角 ○入射角		☑ 球面距離を丸め	て縮尺補正を行う(¥)		
4捨5入 -	1単位 * 3桁	▲ 点検計算	(水平)で使用する方向角(ト	<u>+</u>)	□ 平均標高で投影	補正を行う(⊻)		
偏心点名打ち出し([<u>N</u>) ● 偏心点 ○ 基点	ā	○ 平面方向角 ● 球面の	方向角	平均標高(<u>D</u>)		(m)	
手簿		折光係数	0.133		□ 正反双方向の球	面距離を平均する(L)		
温度計(M)		1/1/10/030						
気圧計(<u>W</u>)		~ 平均ジオ	イド高(<u>G</u>)		縮尺係数(<u>S</u>)			
 2 対回目以降の)鉛直角データを計算する(<u>B</u>)		36.60 (m) 小数桁数(<u>I</u>)	● 2桁	0.999904	□ 簡易網で使用する((E)	
☑削除データは倍角	角基準値としない(<u>E</u>) なたholistまた。(/)			〇 3 桁		_		
 □ 距離に器械定数 	で加味する([)		基準点測量平均ジオイド高調	計算(<u>P</u>)		平均縮尺係数計算(<u>U</u>)	
作業名(1)	○△地区工事の為の用地測	量						
地区名(1)	○△市	主任技術者(<u>8</u>)	$\triangle \triangle \ \triangle \triangle$	現場備考(<u>Z</u>)				
計画機関名(2)	△□市	<u>測器名(9)</u>	□△測器	設置年度(<u>R</u>)				
作業機関名(<u>3</u>)	○□測量株式会社	測器No.(<u>0</u>)	FC1234	変換方法(<u>Q</u>)				
作業班長(<u>4</u>)		測距儀名(<u>X</u>)	□△測器	記入者(<u>+</u>)				
目的(5)	用地測量	測距儀No.(Y)	FC1234	点検者(<u>*</u>)				
期間(<u>6</u>)	自28/12/1 至29/2/28							
作業量(2)	3級基準点3点					ОК + т	ンセル	

6-2 基準点測量記載要領の様式対応

基準点測量記載要領(令和3年度版)に則って計算書を作成できるようにしました。

・ [計算書作成] コマンドの [基準点測量] タブにフッターの項目を追加し、入力した内容を出力できるようにしました。

· 工具 基準 点測量 目目 目 目 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日		
観測手簿		
✓削除データ印字(D)		
一出力データ条件指定		
 全て出力(A) 		
○器械点毎に指定(<u>K</u>)	器械点選択(<u>G</u>)	
厳密網成果		
<i>へッ</i> ダ−(<u>H</u>)		
フッター		
1行目(1)		
2行目(2)		
☑ 器械点名で昇順ソート(S)	□ 路線ごとに改ページ(路線タイプ帳票)(P)	
簡易網成果		
799-		
1行目(3)		
2行目(<u>4</u>)		
L		-
□ 路線ごとに改ページ(R)		
□ 路線ごとに改ページ(<u>R</u>)		
□ 路線ごとに改ページ(<u>R</u>)		
□ 路線ごとに改ページ(<u>R</u>)		
□ 路線ごとに改べージ(<u>R</u>)		
□ 路線ごとに改ページ(<u>R</u>)		



水準測量の新機能をご紹介します。

7-1 基準点測量記載要領水準測量編の様式対応

基準点測量記載要領 水準測量編(令和5年度版)に則って計算書を作成できるようにしました。

・【計算書作成】コマンドの【成果表】タブにフッターの項目を追加し、入力した内容を出力できるようにしました。

計算書の作成	? X
共通 成果表	
─ 結果·補正計算(<u>C</u>)	
 ・成果のセルの値を転記 (推奨) 	
○補正値から結果を再計算	
○ 結果から補正値を逆算 (準推奨)	
フッター	
1行目(1)	
2行目(2)	
☑ 路線単位で改ページ(上)	1
OK キャンセル	

・ [成果] ステージに [楕円補正] の項目を追加し、計算書 (観測成果表) に出力できるようにました。

([路線]ステージで[設定]グループー[初期設定]の[正規正標高補正(楕円補正)]が[行う]になっていて 計算結果がある場合、[成果]ステージの[データ読込み]グループー[網平均路線]で路線データを読み込むと値が 表示されます。)

_																	
џ	No.	開始モード	水準点名	初点標高	距離	測点数	水準差1	水準差2	標尺補正	楕円補正	高低差	補正値	結果	気温	観測年	観測月	観測日
	1	開始	BM.1	5.125													
	2		41		1.300	52	4.545	-4.544			4.545		9.670	20.0			
	3		BM.2		1.206	50	-8.517	8.520			-8.519		1.152	20.0			
÷ .	4	開始	BM.2	1.152													
× 1	5		43		1.366	58	3.118	-3.119			3.119		4.271	20.0			
• •	6		42		1.004	42	-2.245	2.243			-2.244		2.027	20.0			
	7	開始	BM.1	5.125													
	8		42		1.406	58	-3.096	3.097			-3.097		2.027	20.0			
	9	開始	BM.2	1.152													

・ [路線] ステージー [現場情報] コマンドに [主要機器名称及び番号] と [永久標識種別等] の項目を追加し、 計算書 (精度管理表) に出力できるようにしました。

場情報					?	
作業名(<u>0</u>):			目的(<u>5</u>):			
地区名(<u>1</u>):			路線名(6):			
計画機関名(2):			期間(<u>7</u>):			
作業機関名(3):			作業量(<u>8</u>):			
点検者(<u>4</u>):			主任技術者(<u>9</u>):			
主要機器名称及往	/番号					
測器 測器1 測器2	名称	番号	水準電卓 水準電卓1 水準電卓2	名称	番号	
標尺 標尺1 標尺2	名称	,	查 号1		番号2	
永久標識種別等						
永久標識 永久標識1 永久標識2	種別		数量	埋	設法	
						_



縦横断測量の新機能をご紹介します。

8-1 J-LandXML Ver.1.6 出力対応

J-LandXML Ver.1.6の出力に対応しました。

[横断計画] ステージー [3Dモデル作成] コマンドの [データ書込み] – [LandXML] の出力バージョンで [J-LandXML Ver.1.6] を選択できます。

出力設定					? ×
✓[LandXML1.2]	こ準じた3次元設計	データ交換標準	(案)」に準拠(<u>し</u>)	J-LandXM	L Ver.1.6 -
- 現場情報(Proje	ct)		座標管理(CGPoin	nts)	
現場名(<u>G</u>)	路線縦横断練習テ	°−9	☑ 座標データを出	3力する(<u>C</u>)	
備考(<u>B</u>)			 ● すべての座相 ○ 座標を選折 	票を出力(<u>A</u>) Cして出力(<u>E</u>)	座標選択(<u>S</u>)
事業段階(日)	概略	•			
路線名(<u>N</u>) 道路規格(<u>M</u>)	第1種第1級	-	設計速度(<u>F</u>) 設計交通量(<u>T</u>)	120km/h	* 1 (台/1日)
路線測量デー	9名	終更新日時	1	縦横断測量デー	夕名
☑ 路線測量1	20	023/07/10 14	4:54:03 #	縦横断測量1	
詳細設定	(旦) 路線フ	レビュー(<u>P</u>)	縦横断選択(1) 縦椎	黄断解除(<u>O</u>)
		ОК	キャンセル		



3次元計測の新機能をご紹介します。

9-1 KUMIKI 連携対応

[撮影コース精度管理] ステージと [形状復元精度管理] ステージの [データ読込み] グループに [KUMIKI] コマンドを 追加し、KUMIKI (スカイマティクス社製) から撮影コース情報やGCP情報をダウンロードして読み込めるようにしました。

